

様

ナシ部会特報

No.5



平成 30 年 12 月 7 日

JA 中野市ナシ部会

JA 中野市園芸課

下記により南水剪定技術交流会を開催します。2 年連続で講師 2 名を招き、結果枝の更新方法・花芽整理等の高品質生産に直接つながる技術を中心に研修していきます。南水生産者のご参加をお待ちしています！

✚ 南水剪定技術交流会開催要項

開催日時	集合場所	開催園地
12 月 18 日（火） 午前 10 時～11 時 30 分	長印中野駐車場	高橋真一郎様園

1. 講師

（財）長野県果樹研究会 北沢章部会長・山口様

2. 内容

- ① 南水・あきづき成木の整枝・剪定のポイント
- ② 結果枝の更新方法・良い結果枝の作り方
- ③ 芽すぐり（花芽整理）のポイント
- ④ 質疑応答



参考：芽すぐり（花芽整理）のポイント

- ① 1短果枝当り1～2芽を残す。結果枝（側枝）の片側15cm間隔（剪定ハサミ1つ分位）で、横向きか斜め上向きの短果枝群を残し、上芽と下芽は基本的に切除する。
- ② ショウガ芽（短果枝群）を整理して貯蔵養分の消耗を防ぐ。通常はハサミで位置の悪い短果枝を中心に切除するが、葉枚数の確保を含めて、手で花芽を欠いてもよい。
- ③ 上向きの短果枝は日焼け果・収穫前落果の原因になるので切除する。
- ④ 基の花芽に切り戻さず、果台を積み上げ、外に開いたように整理する。
- ⑤ 横向き、斜め上向き花芽を中心に最終的に着果させたい方向の花芽を残す。
- ⑥ 剪定と並行して実施する。樹 1 本、枝 1 本終わったら、芽すぐりを必ず実施する。